

## 令和5年度 第1回酒田市国民健康保険運営協議会会議録

日 時：令和5年9月5日（火）午後1時30分～午後2時30分

場 所：市役所3階 第一委員会室

出席委員：渡辺和紀委員、板垣智則委員、長谷川明子委員、菅原貴子委員、  
菊池裕基委員、阿部公一委員、原田伸子委員

市 側：副市長、地域医療調整監、税務課長、納税課長、市民課長、健康課長、  
高齢者支援課長、国保年金課長、国保担当職員

会議録署名委員：渡辺和紀委員、板垣智則委員

### 資 料

令和5年度第1回酒田市国民健康保険運営協議会資料

- ・令和4年度酒田市国民健康保険特別会計決算について
- ・令和4年度酒田市国民健康保険税収納状況について
- ・令和5年度酒田市国民健康保険特別会計9月補正予算（案）について

### 追加資料

- ・国民健康保険制度の概要
- ・令和5年度第1回県国保連絡調整会議資料

1. 開 会
2. 委員自己紹介
3. 市長あいさつ                      代理 副市長
4. 国民健康保険事業功労者表彰
5. 臨時議長選出
6. 会長選出
7. 会長代理選出
8. 会議録署名委員の指名
9. 協議案件

「会 長」

「(1) 令和4年度酒田市国民健康保険特別会計決算について」、事務局より説明をお願いします。

「国保年金課長」 (資料に基づいて説明)

「会 長」

ただいま説明いただきました内容について、委員の皆様から、ご意見、ご質問等いただきたい。

「A委員」

保険基盤安定制度繰入金と未就学児均等割保険税繰入金は、酒田市の基金からの繰入れという理解でよいか。

「国保年金課」

一般会計の繰入れ以外の部分について、基本的には一般会計の中に国庫の財源が入ってくる。それに市の負担部分を加算した形で国保特会の方に繰り入れをしているといったような形になっている。

いわゆる一般財源的なものの中には入っているが、ほとんどが国からの補助金や交付税が財源になっているといったような内訳である。

「A委員」

国保に係る国や市から入ってきた財源が一般会計に入ってきて、そしてそこから簡単に言うと、一般会計から繰入れているという理解でよろしいか。

「国保年金課長」

そういった理解でよい。

「A委員」

内訳を確認すると、保険税軽減分という項目名称がある。これは酒田市では令和3年度から税率を引き下げてきたところで、これに関して基金からの繰入財源のみでなくて、一般会計の方の国保に関する財源があるようだが、そこから関連して、本市の国保税の税率引き下げ分が繰入れられているという解釈でよいか。

「国保年金課長」

保険税の軽減分は、いわゆる国保税の減税ではなくて、所得によって均等割の7割5割2割軽減という制度に基づいてやっているものについて国の方から交付されるという形になる。

未就学児の均等割の軽減についても国の方から財源が公布され、その分については一般会計の方から繰入れという形になる。

#### 「A委員」

基金の使い道として、減税を続けていくことが将来的にも可能かと思うところ。ただし将来、県で保険税の平準化とか統一化が決まってくると、保険税率を引き上げていかなければならないというような反転する側面を将来抱えるかもしれない。

引き下げてもらった時の負担感というのは嬉しいところであるけれども、引き上げられたときの負担感は、税金なので強いというように思うところである。

来年度以降のことになるが、このまま6年度以降も税率を引き下げっていくのか。

また、基金は、税率引き下げ以外に酒田市特有の何か使い道がないのか。例えば少子化対策で、酒田市特有の少子化対策として上乗せ部分を基金でできないのか。

税率の引き下げを補填することだけにずっと使っていくのか、それとも何か特徴的な先行的な事例となるような取り組みを検討しているのか考えをお聞かせいただきたい。

#### 「国保年金課長」

基金の使い道ということだが、基金設置条例で決まっていて、基本的には療養費が不足した時に充当するという基準になっている。

お話の中にあつた、例えば出産一時金のかき増しになると、今度は他の保険者とのバランスというのも出てくる。あくまでも我々は国民健康保険の運営を担っているが、一般の社保に入ってる方も国保に入ってる方も酒田市の市民であることには変わりはないので、そこで国保加入者だけ、例えば一時金を100万円にしますということは基本的にはできない。そういった少子化対策ということであれば、当然全市的に考えていかなければいけない問題になる。

あくまでも基金については国保の被保険者に対して使うべきものであるという認識をしている。

今の基金の国保税への充当は、その積み立ての原資になった方々、積み立てた時期に被保険者だった人たちにできるだけ還元していきましようという意向である。それが一定程度けりがついた段階では少し本来の額に戻していくための

筋書きが必要になってくるのかなというふうに考えている。

「B委員」

資料の6ページに被保険者数とその医療費の推移がグラフ化されて、団塊の世代が後期高齢者医療保険に移行しているということで保険者数、医療費も前年度より減少している状況が書いてある。

気になるのが、後期高齢者医療は75歳以上が被保険者全員になることから、後期高齢者医療保険の加入者の推移の状況とか、医療費の状況等、参考まで教えて頂きたい。

「国保年金課長」

後期高齢者の医療費の部分については、1治療あたりの医療内容が高度化して、薬も次から次と色々な薬が出てきているため、近年の傾向からすると、医療費としては下がる要素が全然ないというふうに見ている。

人口的な部分は、後期高齢者世代については令和5年4月1日現在で、1万9,426人。そこから概ね1.5から2%ぐらいずっと増えていき、ピークが今の試算の中では令和11年度であると試算している。

令和11年度で2万1,448人。令和12年度で2万1,413人。そこから減少して、令和20年度で2万1,118人になると試算している。

「B委員」

あくまでも、参考ということでお聞きさせていただいた。

「会長」

次に「(2) 令和4年度酒田市国民健康保険税収納状況について」事務局の説明をお願いします。

「納税課長」 (資料に基づいて説明)

「会長」

内容について、委員の皆様からご意見、ご質問等あるか。

「C委員」

9ページの県内主要都市の国保税収納率で、主要都市ということで6市あがっているが、人口数が少ない方が一般的に収納率が高くなるのかなと推測を立

てている。

町、村を含んだ場合、例えば令和4年度の現年課税分での収納率一番高いところ、酒田市の収納率（96.67%）を超えている町村があるか参考までに教えて頂きたい。

「納税課長」

町も含めての収納率で一番高いのはやっぱり村になる。99.9%とか。

それに対して、長井市が例年高いという状況にはあるが、やはり人口が少ない方が収納率が高くなるというような傾向はある。だが、町と市を合わせた評価の場合でも当市は上位5番目に入っている。

「国保年金課長」

速報値になるが、連合会で令和4年度分を取りまとめた資料ある。

滞納分は含まなくて、現年課税分だけの収納率になるが、市町村の中で一番高いのは、舟形町99.66%。最下位が山形市93.53%。

ちなみに酒田市が25番目。保険者は全部で35団体ある。

市の中で見ると本市より高いところは、尾花沢96.78%、上山市96.87%、南陽96.95%。長井市が一番高くて98.31%。

「会長」

次に、「(3) 令和5年度酒田市国民健康保険特別会計9月補正予算案について」事務局から説明をお願いします。

「国保年金課長」（資料にもとづいて説明）

10. その他

「会長」

「その他」について、皆様から何かありますか。

「D委員」

保健事業費のところですが、健康教育とか入っていたり、(4)のところに広報活動事業ということで、「国保さかた」の発行っていうようなことで、紙ベースの国保の事業報告とかに思うところなんですけれども。

今後こういった国保教育とか、健康教育も含めて、紙ベースで発行するだけではなくて、例えば若手の職員が主体となって、YouTubeとかで発信するというのも一つの方法かなというふうに思うところです。

国民年金の先行的な都市の事例で申し上げますと、担当職員の方とその地域の年金事務所の担当の方がタグを組んで、Y o u T u b e で年金教育ということで広報していたりする。

今後マイナ保険証に切り換えていくにあたって、地方の高齢化の土地では不安とか、情報を把握できないような方々も多いと思うので、そういう方がY o u T u b e 見るとは限らないんですけども、一つの方向性・アイデアとして、紙ベースだけではなくて、担当者がちょっと動画を作ったりとか、そういったところも検討していく必要もあるのかなというようなことで発言させていただいた。

「国保年金課長」

ありがとうございます。全く私も同意見です。

いろんなメディアが今出てきているので、そういったものを活用していくのは、いいやり方なんだろうと思う。

市のいろいろ施策にもいえることなのかなというふうに思うので、D X室に繋げていきたい。

あと、紙のものは無くせないところである。その辺はご了解いただきたい。

「会長」

他ないようにでしたら、事務局の方から。

「国保年金課長」

追加資料説明

「会長」

他にないようですので、以上をもちまして、本日の会議を終了する。ご協力大変ありがとうございました。